

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第41週の発生動向

全数報告の感染症 (41週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：日本紅斑熱1例、レジオネラ症1例、レプトスピラ症1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	結核性胸膜炎	労作時呼吸困難
			80歳代	男	結核性胸膜炎	咳、痰、呼吸困難
		延岡	60歳代	男	肺結核	咳、痰
4類	日本紅斑熱	小林	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
	レジオネラ症	宮崎市	50歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
	レプトスピラ症	宮崎市	50歳代	男	—	発熱、筋肉痛、黄疸、出血症状、腎不全

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は516人(定点当たり17.7)で、前週比87%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【咽頭結膜熱】

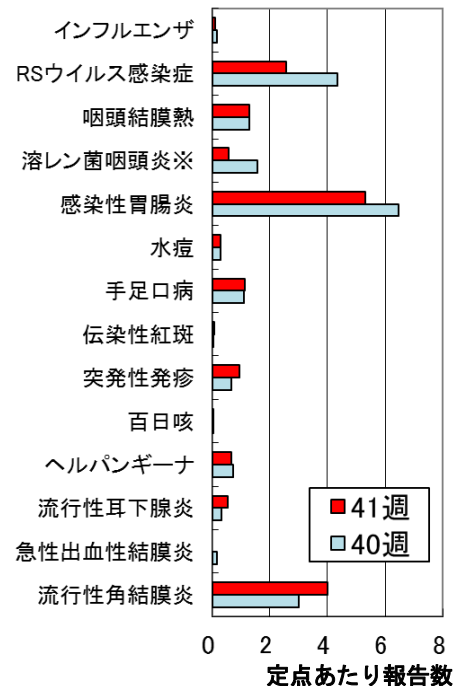
報告数は46人(1.3)で、前週比98%と横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.72)の約1.8倍である。都城(5.5)、小林(1.3)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

【RSウイルス感染症】

報告数は93人(2.6)で、前週比60%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)と同率である。延岡(7.8)、高千穂(6.0)、日向(4.5)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月~1歳が全体の約6割を占めた。

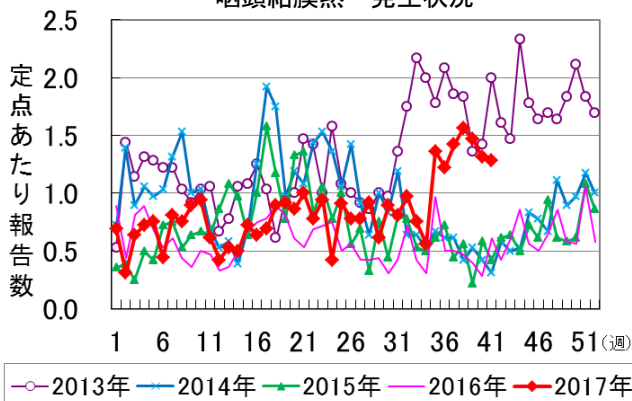
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

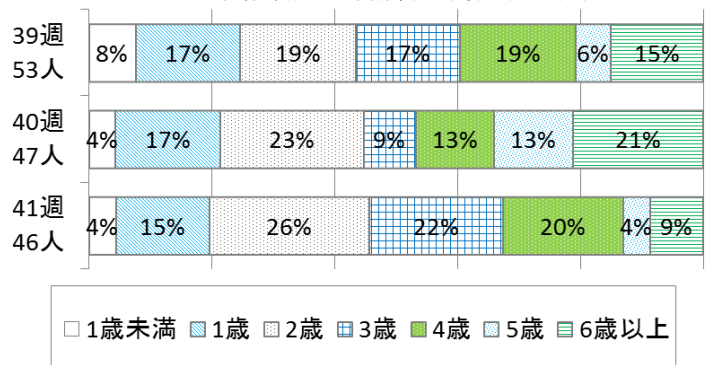


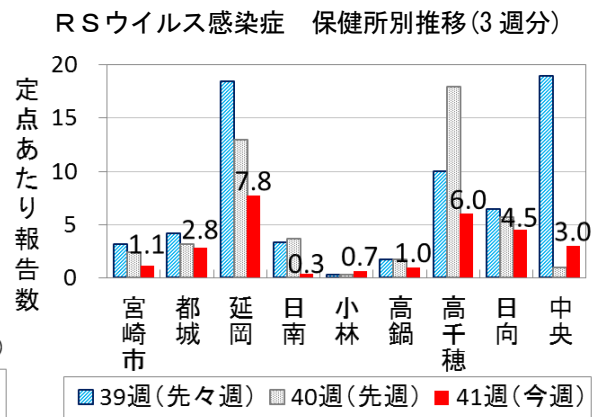
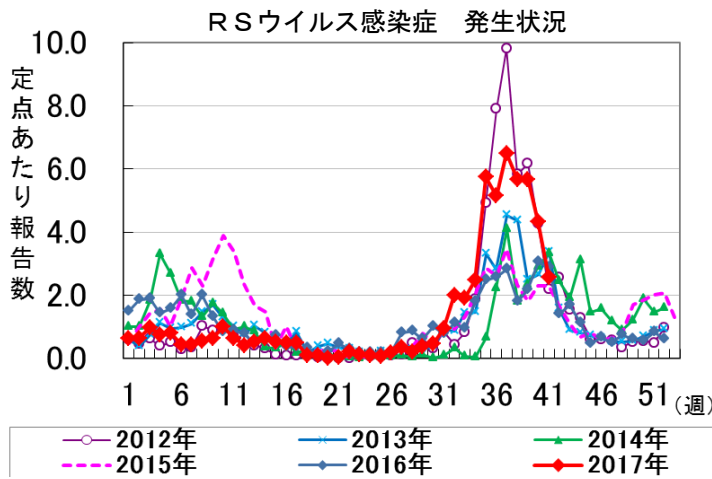
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 年齢群別割合 (3週分)





★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：日南保健所から報告があった。5～9歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(5.5)
延岡	手足口病(6.8)
日南	流行性耳下腺炎(5.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

全国 2017 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 40 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	324 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	86 例	腸チフス	2 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	3 例	A型肝炎	4 例	回帰熱	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	6 例	つつが虫病	1 例	デング熱	7 例
	日本紅斑熱	7 例	日本脳炎	1 例	マラリア	2 例
	レジオネラ症	28 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	18 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	9 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	27 例	水痘(入院例)	5 例
	梅毒	61 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	風しん	1 例	麻しん	5 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 94%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病である。

咽頭結膜熱の報告数は 1,377 人(0.44)で前週比 107%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.25)の約 1.8 倍である。北海道(1.7)、山形県、宮崎県、鹿児島県(1.3)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2017年9月>

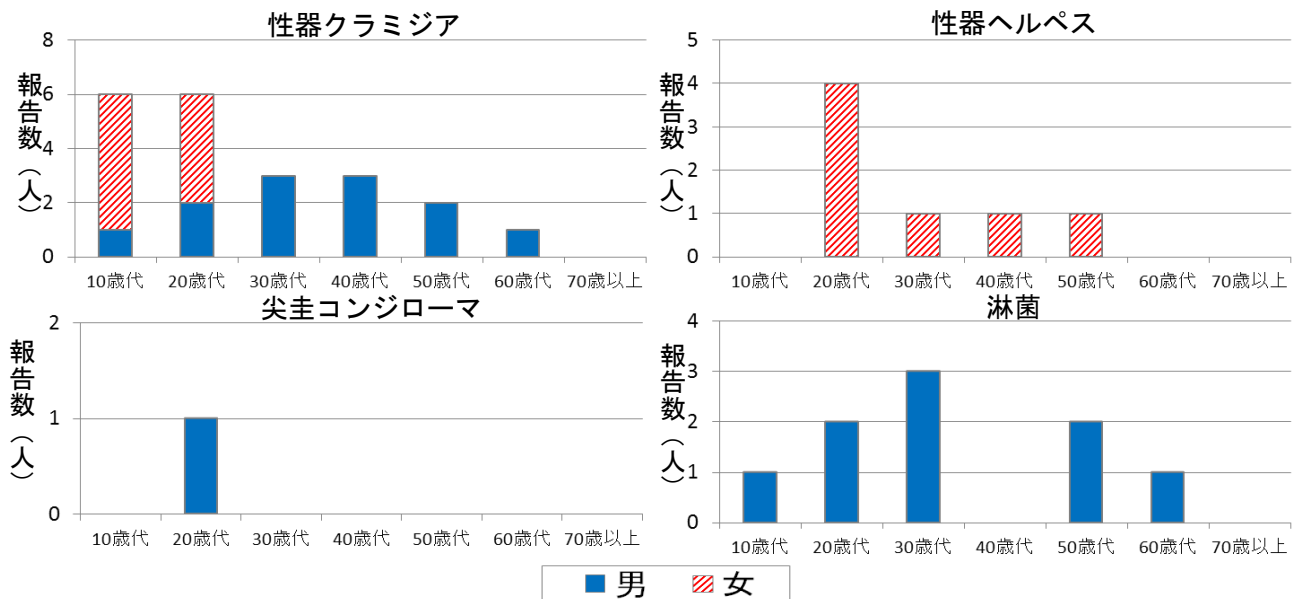
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比152%と増加した。また、昨年9月(2.7)の約1.1倍である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月及び昨年9月の約1.1倍である。10～20歳代が全体の約6割を占めた。(男性12人・女性9人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、昨年9月の3.5倍である。20歳代が全体の約6割を占めた。(女性7人)(前月報告なし。)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年9月の約0.3倍である。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数9人(0.69)で、前月の3.0倍、昨年9月の0.9倍である。(男性9人)



【全国】 定点医療機関総数：989

定点医療機関からの報告総数は4,175人(4.2)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,248人(2.3)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症722人(0.73)で前月比94%、尖圭コンジローマ467人(0.47)で前月比98%、淋菌感染症738人(0.75)で前月比95%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は27人(3.9)で前月比129%と増加した。また昨年9月(1.7)の約2.3倍である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数26人(3.7)で、前月の約1.2倍、昨年9月の約2.2倍である。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、70歳以上である。(前月及び昨年9月報告なし。)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：474

定点医療機関からの報告総数は1,527人(3.2)で、前月比102%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,356人(2.9)で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症165人(0.35)で前月比97%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比50%である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第41週(10月9日～10月15日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	10	6	1	5							
	定点あたり	0.17	0.10	0.06	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	156	93	11	17	31	1	2	4	6	18	3
	定点あたり	4.33	2.58	1.10	2.83	7.75	0.33	0.67	1.00	6.00	4.50	3.00
咽頭結膜熱	報告数	47	46	5	33	1	2	4			1	
	定点あたり	1.31	1.28	0.50	5.50	0.25	0.67	1.33	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	57	21	11	4	3	2	1				
	定点あたり	1.58	0.58	1.10	0.67	0.75	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	233	191	38	28	25	13	23	16	5	26	17
	定点あたり	6.47	5.31	3.80	4.67	6.25	4.33	7.67	4.00	5.00	6.50	17.00
水痘	報告数	11	11	5	1	4					1	
	定点あたり	0.31	0.31	0.50	0.17	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	40	41	5	2	27			1	1	5	
	定点あたり	1.11	1.14	0.50	0.33	6.75	0.00	0.00	0.25	1.00	1.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	3		2				1			
	定点あたり	0.03	0.08	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	34	9	8	2	3	3	3		3	3
	定点あたり	0.67	0.94	0.90	1.33	0.50	1.00	1.00	0.75	0.00	0.75	3.00
百日咳	報告数	1	1								1	
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	26	24	2	4	6	2	5	2	3		
	定点あたり	0.72	0.67	0.20	0.67	1.50	0.67	1.67	0.50	3.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	12	20		2	1	17					
	定点あたり	0.33	0.56	0.00	0.33	0.25	5.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	24	8	9	7						
	定点あたり	3.00	4.00	2.67	4.50	7.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1					1				
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～41週)

2類感染症	結核	146例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	7例(1)	レジオネラ症	9例(1)	レプトスピラ症	2例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	10例	破傷風	5例
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲